

みとめあい

ささえあい

助けあい

障害者  
地域活動  
支援センター

# 「ふえふき通信」



レポート  
by 奈緒

## 私が外に出ることで、 視覚障がいのことを知ってほしい！

自分らしい生活をしている中牧さんを紹介します！

障がいがあることで自分のやりたいことや好きなことを諦めてしまう方もいます。「役に立ちたい！」「好きなことをしたい！」という気持ちは障がいのあるなしに関わらず、誰にでもあります。今回は自分らしい生活をしている中牧さんを紹介します。

「役に立ちたい!!」



こちらは中牧さんが趣味で作ったアクリルたわしです。教わらなくても触れば編み方が分かるそうです。友人やお世話になった方にプレゼントしてとても喜ばれています。最近では東北の被災地にも送っています。

「好きなことをしたい!!」

中牧さんは編み物のほかに、短歌や俳句を作ったり、オカリナサークルに参加したりしています。最近では、童謡をつたう会「ふるさと」にも参加しています。

健康者だけの会に一人で参加するのは初めてで不安だったけど、困っていたら他の参加者が助けてくれた。みんな親切で良かったし、自信も付いた。

中牧さん



童謡をつたう会「ふるさと」の窪田代表と北山先生にもお話を伺いました。

今までに障がい者が参加したことはありませんでした。中牧さんが一人で来て、参加者みんなまで協力しますと言っています。歌う意思のある人は喜んで受け入れます。

窪田代表

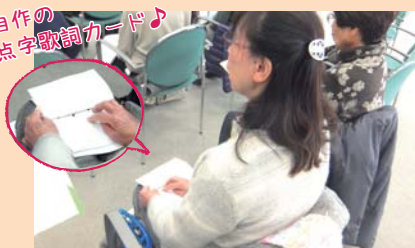


中牧さんはみんなと和やかに話をしながら参加しています。視覚障がいということとで特段意識をしたことはありませんが、言葉で分かりやすく説明するようにしています。

北山先生



自作の  
点字歌詞カード



このスポンは何色がしら？



濃いグリーンですね。

「私が外に出ることで、視覚障がいのことを知ってほしい!!」  
家事のほとんどは一人でできますが自宅に届いた郵便物や、着る服の色や柄は見えないため、ヘルパーと一緒に確認をします。

買い物も歩いていきますが、幅が狭い道路は視覚障がい者にとつて危険がいっぱいです。安全に歩くために、ヘルパーと一緒にいきます。



できないところに少しのお手伝いがあることで、中牧さんの行動範囲は広がり自分らしい生活へとつながっています。支援センターではこれからも障がい者の活動を応援していきます。

視覚障がいのある私が出歩くとき啓発になる。地域の行事にも参加したいし、以前やっていたお琴もまたやりたい!

中牧さん



## 地域啓発研修会 上映会「ひろくんのあるく町」

市からの委託事業である地域啓発研修会を、平成30年1月27日(土)に行いました!

『町の姿は時と共に変わっていくく、でも、変わらなくてほしいものはちゃんこの町に残っている』

障がいがあってもなくても、みんなが町民。大切なことを改めて確認できる温かい映画です。当日の様子は、ブログにて公開します!



「ふえふき通信」は今号をもって最終回となります。長い間、ありがとうございました。次号からは、「地域づくり」についてシリーズでお伝えします。

